



QCサークル関東支部栃木地区 50周年記念 発表大会



発表から学ぼう【成果を生んだプロセス・問題点の捉え方・・・】

◆日時：2025年10月3日（金）9：40～16：00（受付9：25～）



◆会場：宇都宮市文化会館 小ホール + オンデマンド配信[配信期間:10/9(木)～11/6(木)]

本大会は、製造・技術・品質保証などの「SGH部門」と、事務・販売・サービスなどの「JHS部門」の両部門の改善事例発表を聴くことが出来ます。他社のQCサークル活動事例から自社と違った取り組みなどを知ることができ、気づきを持ち帰ることによりサークルやご自身のレベルアップが図れます。

また、本大会は地区長賞の選考も行い、地区長賞「金賞」を受賞されましたサークルには、QCサークル栃木地区の代表として「関東支部チャンピオン大会」に出場して頂きます。改善事例へのアドバイスもあり、見どころ聞きどころ満載です。

プログラム

NO	時刻	内容
1	9:40～	オリエンテーション
2	9:45～	開会挨拶
3	9:58～	SGH部門 発表6件
4	12:20～	昼食休憩
5	13:10～	JHS部門 発表1件
6	13:32～	SGH部門・JHS部門 春知事賞受賞 発表各1件
7	14:20～	特別企画
8	15:20～	審査結果発表
9	15:35～	表彰式
10	15:55～	閉会挨拶

募集要領

◆申込み締切：2025年9月26日（金）

こちらのURLからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/77BrB3YvD4>



◆参加費（お一人・税込み）

会場参加：メール会員5,000円 幹事会社4,000円
(昼食・資料代含む)

会場+オンデマンド配信：メール会員7,000円 幹事会社5,000円
(昼食・資料代含む)

オンデマンド配信：メール会員3,000円 幹事会社2,000円

※オンデマンド配信参加の場合、申し込みいただいたアドレスで視聴先URLを後日お送りしますので配信期間内にて聴講ください。

また、要旨集はデータでの配信となりますので別途案内先よりダウンロードをお願い致します。

お問合せ先

コマツ 小山工場

品質保証部 落合 伸行

Tel：080-4103-8108

E-mail: nobuyuki_ochiai@global.komatsu



発表事例ご紹介

◆印 春カイ知事賞受賞サークル

発表順	部門	会社・事業所名	サークル名	テーマ
1	SGH	日産自動車株式会社 栃木工場	うまいボー	ステーターライン出来高向上 ～サークル員全員で目標出来高達成へ～
2	SGH	株式会社クボタ 宇都宮工場	O W	フレームデッキ誤組撲滅
3	SGH	株式会社小松製作所 栃木工場	ベストテン	3DMGキャリブレーションのインライン化 ～オフ後作業の整流化改善～
4	SGH	株式会社デンソーテン	朝方のミートパスタ教 2024/チームAOI	『止まらない実装への挑戦』Part.2 実装工程における休憩時間の停止率ゼロ化
5	SGH	コマツカミズエンジン株式会社	ムテハ	流出不具合撲滅活動！ ～エンジンコン ピン曲がり不具合撲滅～
6	SGH	株式会社資生堂 那須工場	私たち定時で帰ります	つめもの運用変更による作業時間の削減
7	JHS	栃木県済生会 宇都宮病院	Central sterilization	AC滅菌で引き起こされる滅菌不良の削減
8	SGH	◆ 株式会社小松製作所 小山工場	タッチダウン	小型クランクシャフト不良撲滅・ゼロ活動 ～NEWバランス～
9	JHS	◆ 株式会社小松製作所 部品リマン推進本部	トライアングル	補給キット構成品番ラベル改善活動 ～郡山サービスキット編～

☆☆☆ 小さな気づきは 大きな成果 みんなが主役の栃木地区 ☆☆☆

QCサークル 栃木地区 ホームページ：<https://qc-members.jp/kanto/tochigi>

QC栃木 検索

主催：QCサークル関東支部栃木地区 後援：（一財）日本科学技術連盟 内QCサークル本部 / （一社）栃木県経営者協会



特別企画

【講演テーマ】

「テーマ：QCサークル活動の活性化に向けたトヨタ九州での取り組み」



【講師】

古川孝介 氏

(ふるかわ こうすけ)

【プロフィール】

2006年4月 トヨタ自動車九州株式会社に入社

同年品質保証部でレクサス車両品質を担当

2010年4月 品質管理部でTPS、レクサス標準化活動を推進

2015年4月 デミング賞挑戦を含めTQM推進室へ異動

同年全社QCサークル活動を推進（約800サークル）

2024年4月 退職して起業

【日科技連との関係】

- ・QCサークル本部 認定講師・認定指導員
- ・QCサークル九州支部 幹事、北部九州地区 幹事
- ・QCサークル誌 九州編集委員

トヨタ自動車九州のデミング賞挑戦によって活性化した「QCサークル活動」への取り組みをご紹介します。

※デミング賞とはTQM(総合的品質管理)に関する

世界最高ランクの賞で、トヨタ自動車九州は

2016年デミング賞、2019年デミング賞大賞を受賞

◆発表サークルの見どころ・聞きどころ

SGH（製造・技術・品証）部門

No.1 日産自動車株式会社 栃木工場 うまいボー サークル

私たちのサークルでは女性社員や特定技能外国人などが在籍しており、多種多様な文化や思想を持ったメンバーで構築されています。また、同じ職場内で溶接・組立・コーキングといった専門的な作業に分かれているのも特徴です。今回、類似部品の誤組防止という共通の目標に向かって職場の特徴を活かし、DEIの実現のため活動を進めてきました。問題解決に向けて今までにない新しい発想や提案を形にするため、試行錯誤しながら失敗を繰り返し、成長していく様子をご覧ください。

No.3 株式会社小松製作所 栃木工場 ベストテン サークル

過去からの活動で工場として、ラインオフ後の生産・出荷リードタイムの短縮活動を行ってきました。その中で私たちベストテンサークルは組立インライン検査の導入や検査工程の定ピッチ化を行ない整流化を進め総仕上げとして3DMGのキャリブレーションインライン化にチャレンジしてきました。活動の中で他工場やお客様（販売店）と交流・情報交換を重ねて実現に向けて取り組んだ活動になります。

No.5 コマツカミズエンジン株式会社 ムテハ サークル

エンジンに必要不可欠なハーネスの取り付け時に発生するピン曲がり不具合に対し、取り付け治具と検出装置を新たに導入し、対策を実施しました。特に要因解析では、何度も調査、テストを繰り返し、試行錯誤しながら改善を進めました。また、専門外の分野にも、他部門と積極的にコミュニケーションをとり、理解を深めることで、不具合検出装置の制作が実現しました。

その結果、現在も不具合ゼロを継続しています。単なる応急対応ではなく、根本原因の解消を目指して粘り強く改善活動に取り組みました。今回のQC活動を通して、課題に対し着実に改善を重ねることの重要性を学び、高品質維持への意識向上に繋がりました。

JHS（事務・販売・サービス）部門

No.7 栃県済生会宇都宮病院 Central sterilization サークル

済生会宇都宮病院は、栃県救命救急センターのある地域基幹病院です。

自身が勤務する中央滅菌室は、スタッフ20名で年間7,000件以上の手術が安全に実施できるよう器材供給に取り組んでいます。スタッフの中には、第1種滅菌技術者や第2種滅菌技術士の資格を有する者もあり、医療機器の洗浄・滅菌・消毒・保管など、感染リスクの低減に重要な役割を担っています。

しかし昨今の価格高騰のあおりを受け材料費も増加傾向にあり、いかにコストをかけず安全に器材供給が出来るかをサークル全員で話し合い、手術室など他部署の協力も得て活動してきました。病院という特殊な供給ラインのなかにある問題点を知って頂くとともに、QC活動を通してどのように解決していったかをご覧ください。

No.2 株式会社クボタ 宇都宮工場 OW サークル

私たちのサークルでは女性社員や特定技能外国人などが在籍しており、多種多様な文化や思想を持ったメンバーで構築されています。また、同じ職場内で溶接・組立・コーキングといった専門的な作業に分かれているのも特徴です。今回、類似部品の誤組防止という共通の目標に向かって職場の特徴を活かし、DEIの実現のため活動を進めてきました。問題解決に向けて今までにない新しい発想や提案を形にするため、試行錯誤しながら失敗を繰り返し、成長していく様子をご覧ください。

No.4 株式会社デンソーテン 朝方のミートバスタ教 2024/チームAOI サークル

これまでも止まらない実装ラインに挑戦してきましたが、次のSTEPの24h無人化に向けて、まずは休憩時間（10分間）に設備を止めないことを目標に、『～低減活動』から『ゼロ活動』に考え方を变えて進めました。初参加メンバーが多く、またリーダーも経験が少ないことから22年度の全社大会優勝者をオブザーバに迎え、リーダー、メンバーのレベルUPもしながら活動を進めました。現地現物で調査・改善をし、時にはうまく行かないこともありましたがゼロを目指しモチベーションを上げてみんなで力を合わせて取り組んできましたのでどうぞご覧ください。

No.6 株式会社資生堂 那須工場 私たち定時で帰ります サークル

- ・他部門を巻き込んで改善を推進したこと
- ・QC手法を用いたデータ分析を行い改善を推進できたこと
- ・試行錯誤し、成功したときの喜び

No.8 株式会社小松製作所 小山工場 タッチダウン サークル

三現主義で現物を直視自分たちでデータを測定・解析し、課題解決に向けて設計・素材メーカー・生産技術部・生産技術開発センターと他部門との連携。バランス修正工程だけでなく、素材・前工程に踏み込んだ改善を指導し、新リーダーが「3気筒エンジンの難しさ」「バランス品質をどのように作り込むか」を学び、不良数ゼロを目指す活動とどまらず、カンコ作業の自動化にチャレンジし、リーダーとして大きく成長した事例をどうぞご覧ください。



No.9 株式会社小松製作所 部品リマン推進本部 トライアングル サークル

- ・海外向けの輸出規制に関するエンプライアンス問題を未然に防ぐことができ、付帯効果として、国内修理販売店や海外生産工場の満足度向上にもつながりました。
- ・部品・リマン推進本部、郡山工場管理部、コマツ物流郡山事業所の3部門で力を併せて実現できた改善でした（※コマツ初）
- ・真の要因を洗い出し改善を進めたが、後工程で新たな問題が発生し、PDCAを何度も回し、諦めずに前向きに改善に取り組み、問題を解決したことでサークルのレベルを向上させることが出来ました。

★★★ 小さな気づきは 大きな成果 みんなが主役の栃木地区 ★★★

QCサークル 栃木地区 ホームページ : <https://qc-members.jp/kanto/tochigi>

主催：QCサークル関東支部栃木地区 後援：（一財）日本科学技術連盟 内QCサークル本部 / （一社）栃木県経営者協会

QC栃木 検索

